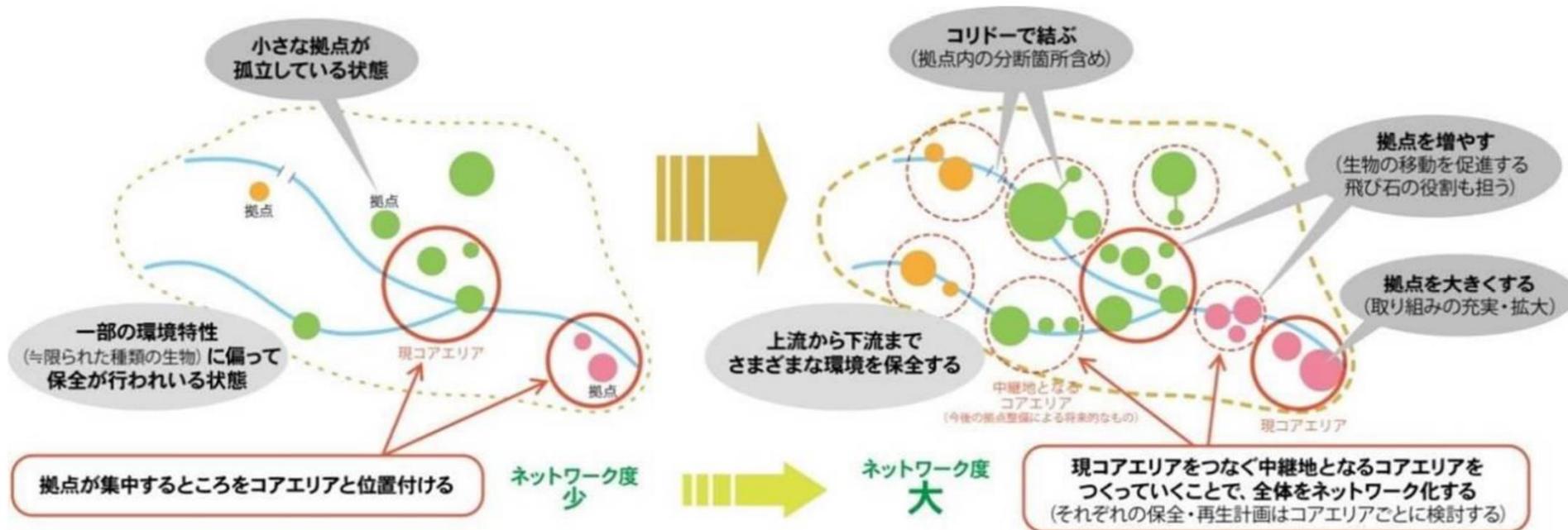


河川を基軸とした生態系ネットワークの形成に向けて

【生態系ネットワーク(エコロジカル・ネットワーク)】

生物多様性が保たれた国土を実現するために、保全すべき自然環境や優れた自然環境を有している地域を核として、これらを有機的につなぐ取り組み

- 形成の目的**
- ①生態系・生物多様性の保全・再生(自然環境)
 - ②地域振興・経済活性化(社会経済)



生態系ネットワーク構築のイメージ

出典:「遠賀川流域における生態系ネットワーク形成の促進に向けて(案)」(平成29年8月遠賀川流域生態系ネットワーク検討委員会)

◆生態系ネットワークの形成により、生物多様性の確保を図り、人と自然との触れ合いの場を提供することで、地域に社会面・経済面において様々な効果をもたらすことが期待される

越後平野における生態系ネットワーク形成に向けた検討経緯

H26

◆全国の生態系ネットワークの取組み状況の整理

H27

◆環境特性・課題の整理

H28

◆生態系ネットワークの指標種の検討

H29

◆生物多様性の取組み状況の整理

H30

◆推進方策の検討

H31

◆推進協議会の設立

令和元年7月22日

目的：越後平野における生態系ネットワーク形成の推進
越後平野の自然の価値及び魅力を活かした地域の
活性化、地域づくり

◆全体構想の検討

◆取組内容の検討

- 担当者連絡会 (H28.3)
- 庁内勉強会 (H28.9)
- 第2回担当者連絡会 (H28.10)
- 第3回担当者連絡会 (H29.3)
- 生態系ネットワーク勉強会 (H31.1)
- 生態系ネットワーク準備会 (H31.4)
- 生態系ネットワーク推進協議会 (R1.7～)

■推進協議会の協議事項

- ・生態系ネットワーク形成の推進に関すること
- ・指標種の生息環境の保全、再生及び創出に関すること
- ・自然の価値や魅力を活かした地域の活性化、地域づくりに関すること
他



第1回協議会開催状況（R元. 7. 22）

- 第1回（令和元年7月22日）
先進事例の紹介、今後の進め方について 等
- 第2回（令和2年2月20日）
全体構想の策定に向けて、指標種保全に関する取組 等
- 第3回（令和4年2月14日）
全体構想（原案）、今後の進め方について 等

越後平野における生態系ネットワーク検討の実施体制(案)

- 多様な主体が連携・協働し、生態系ネットワークの形成に関する取組を進めるため、協議会を令和元年7月に設置。今年度は、生態系ネットワークの全体構想及び行動計画の骨子の作成に向けた検討を行う。
- 今年度、生息環境検討部会・自然環境活用部会を設置し、具体的な取組について検討を進める。

越後平野における生態系ネットワーク推進協議会

(年1回開催)

構成: 学識者、市民団体、市町村、新潟県、環境省、農林水産省、国土交通省

ハード面の取組み: 各主体が実施する生物多様性の保全・配慮の取組を尊重しつつ、全体構想の策定など方向性を設定し推進する。
ソフト面の取組み: 情報の共有や発信、環境調査、普及啓発活動、イベント等について、連携・協働して推進する。

関係機関担当者連絡会

(年2回開催)

越後平野における生態系ネットワークの形成に向けた勉強会&幹事会

自然環境活用部会

(年2回程度開催、行動計画策定後1回開催)

自然環境活用勉強会

(終了)

目的: 指標種をはじめ水辺に係る地域資源を活かした経済の活性化、地域に関することについて検討を行う

構成員(事務局: 北陸地整河川部)

- ◎ 関島教授(新潟大学)
- 藤田准教授(新潟国際情報大学)
- ・ 河口准教授(徳島大学)
- ・ 村山准教授(新潟大学)
- ・ 磯貝委員(新潟県観光協会)
- ・ 木村委員(新潟県生活協同組合連合会)
- ・ 玉木委員(新潟県商工会連合会)
- ・ 中村委員(新潟日報社)
- ☆ 山田委員(新潟市北区観光協会)
- ☆ 新潟県
- ☆ 新潟市
- ☆ 新発田市
- ☆ 佐渡市

◎: 部会長
○: 副部会長
☆: オブザーバー

生息環境検討部会

(年2回開催、行動計画策定後1回開催)

生息環境検討勉強会

(終了)

目的: 指標種の生息環境の保全、再生及び創出に関することについて検討を行う

構成員(事務局: 北陸地整河川部)

- ◎ 関島教授(新潟大学)
- 河口准教授(徳島大学)
- ・ 藤田准教授(新潟国際情報大学)
- ・ 佐藤委員(新潟県水鳥湖沼NW)
- ・ 北陸農政局
- ・ 関東地方環境事務所
- ・ 新潟県
- ・ 新潟市
- ・ 長岡市
- ・ 新発田市
- ・ 信濃川、信濃川下流、阿賀野川

◎: 部会長
○: 副部会長